



明政会  
さいしゅう  
西條 ともお  
富雄

## コロナ感染症起因の後遺症への支援

その他の  
質問事項

- ▼ 塩尻市のGX戦略の取り組み
- ▼ 空き家調査業務の郵便局への行政事務委託

◆コロナ感染症起因の後遺症「摂食障害」「強度行動障害」への支援

問 感染拡大防止で休校や部活動自粛の中、神経性やせ症・拒食症の子どもが急増したが、塩尻市内の子どもの状況は。

答 子どもたちを取り巻く環境の大きな変化で心や体への影響については、支援員などひとり一人に寄り添った支援をする。

(教育総務課)

問 パニックで発症する強度行動障害者への支援を厚くして、家族や事業所の負担軽減が必要では。

答 「強度行動障害児・者住宅改良促進事業」の創設や「日中一時支援事業」の報酬単価引き上げを予算計上し、事業者の人員確保や支援体制の向上を促進させる。

(福祉課)

◆高濃度PCB含有機器処理期限の周知

問 高濃度PCB廃棄物



太陽光発電を売電せず自家使用にして電気代高騰対策にした工場

の最終処理期限が令和5年3月31日と迫っているが、市民への周知活動は出来ているか。

答 県、関係団体が連携し、広報するなどして周知に努める。

(生活環境課)

◆脱炭素発電所新設支援

問 国の支援が20年間得られる脱炭素発電所をソヤノウッドパークに併設し、当初の発電量を達成する計画はあるのか。

答 市として現在そのような構想はない。

(産業政策課)

要望 太陽光発電の売電を自家使用し高騰対策を。

## 広域的に重要な両小野バイパス早期事業化を

その他の  
質問事項

- ▼ JR塩嶺トンネル減濁水の施設改修計画を
- ▼ 有害鳥獣対策を



新政会  
よこざわ  
横沢 えい  
英一

◆両小野バイパス早期事業化について

問 国道153号のバイパス事業を確実に進めるため、両小野地区に求めるものは何か。

答 令和2年度から調査費が付き、松本建設事務所は道路概略検討業務を実施し、交通状況、周辺の地形や地質等文献調査を行い、本年2月13日には、両小野地区振興会にこれまでの調査結果を報告し、今後の予定やアンケート調査を実施することが示された。今後、バイパスルートについては、地元と十分協議していきたい。県・市と地権者との合意形成への協力、整備することで地域コミュニティの維持活性化に結びつくことなど、その効果について住民に周知していくことが必要であると考えている。

(市長)

◆塩嶺トンネル建設工事

の覚書の履行について

問 減濁水対策の覚書の履行を。

(農林課)

◆上水道事業の適正な維持管理について

問 給水収益が減収し投資額が増大するが今後の維持管理について。

答 アセットマネジメントを策定し、老朽度、耐震度等に応じた管路状況を評価し、緊急性や優先度を考慮して改良を行っていく。

(上水道課)



国道153号の交通量の現状